

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
1	図書館維持管理事業	施設環境維持のための各種保守委託・借上	-
2	図書館運営事業	図書館サービス全般	-
3	図書館コンピュータ・ネットワークシステム 推進事業	コンピュータシステムの維持・管理	-
4	図書館資料整備事業	図書館資料(図書、逐次刊行物、視聴覚資料)の整備	-
5	子ども読書推進事業	児童サービス及び家庭・地域・学校等との連携	-

予算事業名	図書館維持管理事業					事業番号	10 - 24 - 01			
細分事業名	—					シート作成日	令和1年8月30日			
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業開始年度	—
									事業終了予定年度	—
部等名			課等名				係名			
教育部			生涯学習課図書館				—			

事業計画 (Plan)	総合計画	P 83	柱	IV 心豊かな人と育てるまちづくり						
			部門	4 生涯学習						
			大施策	A 生涯学習の環境づくり						
			中施策	(2) 生涯学習施設の充実						
			施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。						
	根拠法令・条例等		図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則							
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016-2020							
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)		施設の良い環境を維持管理するため。							
	対象 (誰を・何を)		図書館の施設・設備及び利用者。							
内容		利用者に良い環境を提供するため、清掃等の各種保守委託を実施し、施設・設備の維持管理及び修繕を行う。								

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	財源内訳	単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	
			直接事業費 (a)	千円	7,554	8,987	8,211	9,913
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他		475	392	1,012	420
	一般財源	7,079	8,987	7,199	9,493			
	職員人数 (概算職員数)	人	0.25	0.35	0.35	0.35		
	人件費計 (b)	千円	1,443	1,975	1,643	1,936		
総事業費 (a) + (b)	千円	8,997	10,962	9,854	11,849			
事業費内訳 (千円) R 01 年度		需要費: 5,282千円 役務費: 112千円 委託料: 4,351千円 使用料及び賃借料: 160千円 負担金、補助及び交付金: 8千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者数				230,000人	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	町民	人	—	31,504	31,504	31,338	31,982
	活動指標 (活動量)	来館者数	人	計画値	164,000	150,000	160,000	165,000
				実績値	164,288	162,174	—	—
	成果指標 (達成度等)	町民1人当たりの来館回数	回	目標値	5.2	4.8	5.1	5.2
				実績値	5.2	5.1	—	—
				達成率	100.0%	106.3%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	④ ニーズに応じて実施する事業ではない		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
		過去の外部評価における指摘事項	—		
		主な改善経過(過去4年間)	H28年度に自動ドアガイドレール交換修繕、H29年度に消防車庫トップライト周り雨漏り修繕、H30年度に地下倉庫壁面漏水修繕、高圧負荷開閉器交換修繕等を実施した。また、蛍光灯からLED照明への交換を順次実施した。		
	課題	施設・設備の耐用年数を考慮した修繕及び更新を行う必要がある。			

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	平成30年度	維持	平成29年度	—	平成28年度	—	
		理由	大磯町公共施設等第1期個別施設計画に基づき、長寿命化を図る必要があるため。							
		課題解決への視点	施設・設備の修繕及び更新について、より安価で簡易な方法の調査に努める。							
	着手する事項	R01年度	自動ドア・ドアエンジンコントローラー等交換修繕、電算室空調機修繕							
		R02年度	地階給水ポンプユニットオーバーホール							
	R01年度改善事項	自動ドア・ドアエンジンコントローラー等交換修繕、電算室空調機修繕、地下誘導灯設備修繕、成人開架室北面地下湧水ポンプ更新工事、展示コーナー照明器具交換工事、1階女子トイレ洗面器水栓修繕工事、エレベーターかご内天井照明器具交換修繕を行った。								
		記入日	令和2年2月28日							

予算事業名	図書館運営事業					事業番号	10 - 24 - 02			
細分事業名	—					シート作成日	令和1年8月30日			
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業開始年度	—
									事業終了予定年度	—
部等名			課等名				係名			
教育部			生涯学習課図書館				—			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	IV 心豊かな人と育てるまちづくり							
		部門	4 生涯学習							
		大施策	A 生涯学習の環境づくり							
		中施策	(2) 生涯学習施設の充実							
		施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。							
	根拠法令・条例等		図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則							
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016-2020							
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)		町民が必要とする資料を適切に提供するため。							
	対象 (誰を・何を)		町民							
内容		町民が必要とする図書館資料を適切に提供するため、窓口業務等必要な臨時職員を配置し、利用者への円滑な窓口サービス提供を図る。図書館資料の多様な提示に努め、利用者へ資料提供を行う。知の拠点づくりのため、講座を開催する。								

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施				
			単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	15,953	16,248	16,929	17,700
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他		334	326	346	346
		一般財源		15,619	15,922	16,583	17,354
	職員人数 (概算職員数)		人	2.40	2.85	2.25	2.20
	人件費計 (b)		千円	13,853	16,083	10,800	12,951
総事業費 (a) + (b)		千円	29,806	32,331	27,729	30,651	
事業費内訳 (千円) R 01 年度		報酬：69千円 共済費：177千円 賃金：14,712千円 報償費：40千円 旅費：15千円 需用費：1,256千円 役務費：585千円 委託料：210千円 使用料及び賃借料：601千円 負担金、補助及び交付金：35千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者				230,000人	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	町民	人	—	31,504	31,504	31,338	31,982
	活動指標 (活動量)	貸出点数	点	計画値	177,000	170,000	170,000	175,000
				実績値	177,393	175,337	—	—
	成果指標 (達成度等)	町民1人当たりの貸出数	点	目標値	5.6	5.4	5.4	5.5
				実績値	5.6	5.6	—	—
達成率				100.0%	103.7%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
		過去の外部評価における指摘事項	—		
	主な改善経過(過去4年間)	図書館資料を利用者がより手に取りやすいよう、テーマ別展示の実施回数を増やした。図書館ホームページに郷土資料のうち絵葉書などのデジタルアーカイブ及びテーマ別資料紹介「大磯ふるさと往還」を随時公開した。			
	課題	多様化する利用者要求に対して、適切な図書館資料提供方法を研究する必要がある。			

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	平成30年度	維持	平成29年度	—	平成28年度	—	
		理由	町民ニーズに対応できるよう、多様な資料提供を継続する必要があるため。							
		課題解決への視点	利用状況及び「リクエストカード」、「カウンターひとことメモ」を活用し、利用者要求の把握に努める。							
	着手する事項	R01年度	映画会上映作品を鑑賞者の要望に応えるため、幅広い作品を選定できるよう上映サービス「みんなでシネマ」を導入した。							
		R02年度	「大磯町立図書館サービス計画 2020～2024」を策定する。							
		R01年度改善事項	映画会上映作品を鑑賞者の要望に応えるため、上映サービス「みんなでシネマ」を導入したことにより、幅広いジャンルの作品を選定できた。							
	記入日	令和2年2月28日								

予算事業名	図書館コンピュータ・ネットワークシステム推進事業				事業番号	10 - 24 - 03					
細分事業名	—				シート作成日	令和1年8月30日					
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	04	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
教育部				生涯学習課図書館				—			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	IV 心豊かな人と育てるまちづくり								
		部門	4 生涯学習								
		大施策	A 生涯学習の環境づくり								
		中施策	(2) 生涯学習施設の充実								
		施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。								
	根拠法令・条例等		図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則								
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016-2020								
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)		図書館業務全般を効率的に運用するため。								
	対象 (誰を・何を)		町民及び図書館業務全般								
内容		図書館コンピュータ・ネットワークシステムの維持管理を行い、各種窓口業務、蔵書管理、インターネット蔵書検索など図書館業務の効率的な運営を図る。学校図書館との連携を進める。									

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施				
			単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	5,971	6,437	6,671	6,696
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		5,971	6,437	6,671	6,696
	職員人数 (概算職員数)		人	0.25	0.30	0.25	0.25
	人件費計 (b)		千円	1,443	1,693	1,229	1,472
総事業費 (a) + (b)		千円	7,414	8,130	7,900	8,168	
事業費内訳 (千円) R 01 年度		需用費 : 170千円 役務費 : 246千円 使用料及び賃借料 : 6,280千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者数				230,000人	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	図書館利用登録者数	人	—	23,602	24,310	25,000	25,500
	活動指標 (活動量)	インターネット予約件数	件	計画値	17,000	17,000	17,000	17,500
				実績値	16,560	16,935	—	—
	成果指標 (達成度等)	貸出点数	点	目標値	177,000	170,000	170,000	175,000
				実績値	177,393	175,337	—	—
				達成率	100.2%	103.1%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	平成27年度に図書館コンピュータ・ネットワークシステムのリプレースを実施した。平成29年度に学校図書館のパソコンを新規リースした。			
課題	令和2年度のコンピュータ・ネットワークシステム更新に向けて、学校図書館連携を含めた調査・研究を行う必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	改善	平成30年度	改善	平成29年度	—	平成28年度	—	
		理由	コンピュータ・ネットワークシステムを定期的に更新し、学校図書館との連携を深め、効率的な図書館業務の運用を行う必要があるため。							
	課題解決への視点	図書館コンピュータ・ネットワークシステムについて、調査・研究を行う。								
	着手する事項	R01年度	ホームページ及びツイッターを逐次更新する。学校図書館連携について調査研究を行う。							
		R02年度	図書館コンピュータ・ネットワークシステムの更新を行う。学校図書館連携システムを準備・開始する。							
	R01年度改善事項	開館日毎にツイッターを更新することにより、即時性のある情報発信を行った。								
記入日	令和2年2月28日									

予算事業名	図書館資料整備事業					事業番号	10 - 24 - 04						
細分事業名	—					シート作成日	令和1年8月30日						
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	05	事業開始年度	—	
											事業終了予定年度	—	
部等名			課等名					係名					
教育部			生涯学習課図書館					—					

事業計画 (Plan)	総合計画	P 83	柱	IV 心豊かな人を育てるまちづくり						
			部門	4 生涯学習						
			大施策	A 生涯学習の環境づくり						
			中施策	(2) 生涯学習施設の充実						
			施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。						
	根拠法令・条例等		図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則							
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016-2020							
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)		年間を通じて定期的かつ計画的に図書館資料を整備し、町民の多様なニーズに応えるため。							
	対象 (誰を・何を)		図書館資料							
内容		一般書、児童書、郷土資料、逐次刊行物、視聴覚資料等の選定・購入・受入・整理・保存を行い、図書館資料を管理する。								

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施									
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	H28年度 (決算)	9,810	H29年度 (決算)	9,810	H30年度 (決算見込)	9,820	R01年度 (予算)	9,820
			国庫支出金	千円	県支出金							
					起債							
					その他	4	3	1				
					一般財源	9,806	9,807	9,820	9,820			
					職員人数 (概算職員数)	人	0.60	0.85	0.65	0.55		
		人件費計 (b)	千円	3,463	4,797	3,273	4,075					
	総事業費 (a) + (b)	千円	13,273	14,607	13,093	13,895						
	事業費内訳 (千円) R 01 年度		需用費 : 9,820千円									
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値					
			生涯学習施設来館者数				230,000人					
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)				
	対象指標 (対象者数等)	町民	人	—	31,504	31,504	31,338	31,982				
	活動指標 (活動量)	購入冊数	冊	計画値	4,000	4,060	4,060	4,060				
				実績値	4,391	4,438	—	—				
	成果指標 (達成度等)	人口1人当たりの購入冊数	冊/人	目標値	0.13	0.13	0.13	0.13				
実績値				0.14	0.14	—	—					
達成率				109.8%	109.3%	—	—					
定性的成果												

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	資料整備時に、情報入力する項目を増やすことにより、利用者が図書館資料の情報をより多く得られるようにした。郷土資料の整備を積極的に行った。			
課題	未整理の図書館資料の整備をする必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	改善	平成30年度	—	平成29年度	—	平成28年度	—	
		理由	今後も利用者の多様なニーズに応えた図書館資料構成を発展させていく必要があるため。							
	課題解決への視点	未整理の図書館資料について、将来の利用を考慮した体系的な資料選定を行い、整備を行う。								
	着手する事項	R01年度	利用者の課題解決や調査・研究を支援するため、子育て・ビジネス支援図書の充実・更新を図る。							
		R02年度	利用者の課題解決や調査・研究を支援するため、参考図書の充実・更新を図る。							
	R01年度改善事項	利用者の課題解決や調査・研究を支援するため、子育て支援図書46冊及びビジネス支援図書100冊の受入れを行うことにより、資料の充実・更新を図った。								
	記入日									
	令和2年2月28日									

予算事業名	子ども読書推進事業						事業番号	10 - 24 - 05			
細分事業名	—						シート作成日	令和1年8月22日			
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	06	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
教育委員会				生涯学習課図書館				—			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり								
		部門	4 生涯学習								
		大施策	A 生涯学習の環境づくり								
		中施策	(2) 生涯学習施設の充実								
		施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。								
	根拠法令・条例等		図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則								
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016-2020 (附) 第三次大磯町子ども読書活動推進計画								
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)		家庭、地域、学校等と連携して読書環境を整備し、子どもの自主的な読書活動を推進するため。								
	対象 (誰を・何を)		乳児、幼児、児童、生徒。								
内容		4か月健診時のブックスタート、おはなしと紙芝居、幼稚園・保育園年長児の図書館見学、小学校4年生の学級招待、小学校新入生へのステップブック等の事業を実施するとともに、学校図書館との連携を図る。									

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	財源内訳	単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	
			直接事業費 (a)	千円	1,277	800	740	948
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源		1,277	800	740	948		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.50	0.65	0.50	0.55		
	人件費計 (b)	千円	2,886	3,668	2,198	3,113		
総事業費 (a) + (b)	千円	4,163	4,468	2,938	4,061			
事業費内訳 (千円) R 01 年度		報償費：100千円 需用費：534千円 役務費：50千円 使用料及び賃借料：264千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者数				230,000人	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	おはなし会参加人数	人	—	1,146	1,223	1,200	1,200
	活動指標 (活動量)	おはなし会開催回数	回	計画値	110	110	110	110
				実績値	109	108	—	—
	成果指標 (達成度等)	実施回数当り参加者数 (おはなしと紙芝居)	人	目標値	10.4	11.1	10.9	10.9
				実績値	10.5	11.3	—	—
				達成率	101.0%	101.8%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はあるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	H28年度からブックトークと工作・実験を行う「本といっしょの夏休み」を実施している。H29年度から小学校新入生全員に「ステップブック」リストと読書通帳を配布している。H30年度からは「おはなし会のお知らせ」を配布している。また子育て支援課主催事業である「放課後子ども教室」に参加し、ブックトークや工作、学校図書館への団体貸出等を行っている。「冬休みも本といっしょ」を実施している。おはなしボランティア養成のため、H28年度にスポーツ健康課職員を招いてブックスタート入門講座や、H29年度にはおはなし会での絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどの講座を実施した。			
課題	子どもの自主的な読書活動の推進のため、提供資料の再検討する必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	第三次大磯町子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの自主的な読書活動の推進を行う必要があるため。							
	課題解決への視点	各年齢層、読書力、興味等に合った資料の選定、収集、提供に努める。								
	着手する事項	R01年度	開架資料を見直し、資料の選定や収集、配置換え等を行い、子どもの自主的な読書活動を推進する。							
		R02年度	第四次大磯町子ども読書活動推進計画を策定する。							
	R01年度改善事項	本館分館共に児童コーナーの大幅な配置換えを行った。本館では新たに外国語で書かれた絵本を配架した。分館には靴を脱ぐスペースを新設し絵本を配架したことによって、選んだ絵本をその場ですぐに読む様子も見受けられた。資料選定では、絵本や児童書だけでなく伝記や図鑑等も積極的に購入し、子どもの読書意欲の向上を図った。また、「読書スタンプラリー」や「図書館の貸出福袋」など、子どもの発達段階に合わせた事業を継続的に実施した。								
	記入日	令和2年2月28日								